

第39回防衛問題セミナー

テーマ：北海道の防災対策と地元部隊の役割



北海道防衛局は、平成30年7月9日（月）名寄市民文化センターEN-RAYホールにおいて、「北海道の防災対策と地元部隊の役割」をテーマに、北海道総務部の辻井危機対策局長と陸上自衛隊第2師団長の野澤陸将を講師にお迎えし、名寄市、名寄地方自衛隊協力会及び名寄商工会議所の後援並びに自衛隊旭川地方協力本部の協力をいただき、第39回防衛問題セミナーを開催いたしました。

講演に先立ち、古川北海道防衛局長から開催挨拶を行い、続いて加藤名寄市長から後援者を代表してご挨拶を賜りました。



主催者挨拶
北海道防衛局 古川 局長



後援者ご挨拶
名寄市 加藤 市長

講演内容について



北海道総務部
辻井 危機対策局長

第1部として、辻井危機対策局長から「北海道における防災対策について」と題し、自然災害の発生状況、北海道庁の体制、自衛隊との連携協力、北海道の危機事態への対応に向けた取組等について講演がなされました。

第2部では、野澤陸将から「地元部隊の役割等について」と題し、第2師団の警備隊区、自衛隊による災害派遣の特色、平成23年の東日本大震災や平成28年の熊本地震における災害派遣活動の状況などについて講演がなされました。



陸上自衛隊第2師団長
野澤 陸将



今回のセミナーには、約490名の方々にご来場いただき、皆様からは「防災に対する意識・知識が深まった」、「道がいろいろな取組を実施しているのを知ることができた」、「地元部隊の役割について認識できた」、「災害派遣について詳しく聞くことができてよかった」など多くの感想が寄せられました。

災害派遣活動状況写真及び災害用装備品の展示

セミナー会場において、今回のテーマに合わせ、名寄駐屯地の協力の下、災害派遣活動の状況写真や災害用装備品の展示を行いました。



写真提供: 名寄駐屯地広報班

当局では、今後も防衛省の政策、自衛隊の活動等について、道内の皆様にご理解を深めていただくため、各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。